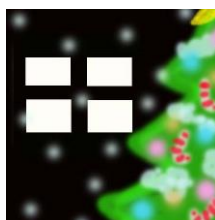


あずま図書館 Newsニュース

山眠る
強き人ほど無口なり
よしゑ



墨田区立あずま図書館 〒131-0044 墨田区文花 1-19-1-3F Tel.3612-6048 (図書館電話案内サービス)

図書館探検隊！

冬の人形劇（児童サービス）について

あずま図書館をはじめ、墨田区立図書館では、子どもが本や物語などに親しみを持ってもらうためのきっかけ作りとして、お話し会・工作会・人形劇などを行っています。毎回親子連れをはじめ、たくさんの方に参加していただいています。

今月は各館、下記の日程で職員による手作りの人形劇を開催致します。人形劇の他にブックトーク（本の紹介）や読み聞かせ等も行います。

たくさんのお本・物語に出会いに、図書館の冬の人形劇へいらっしやいませんか？

■ 墨田区立図書館 冬の人形劇 ■

図書館名	内 容	日 時
あずま 図書館 文花1-19-1 電話 3612-6048	人形劇「どうぞのいす」、 ペープサート「おむすびころりん」	12月10日（日）①午前10時 30分から ②午後1時30分 から ③午後3時から
寺 島 図書館 東向島3-34-4 電話 3611-4610	人形劇「ぐりとぐら」、 大型絵本、手遊び、手品 など	12月17日（日） ①午前10時30分から ②午後2時から
立 花 図書館 立花6-8-1-101 電話 3618-2620	人形劇「大きなかぶ」、「3びきの こぶた」、パネルシアター「十二支 のはなし」、手遊びとうた	12月20日（水） 午後3時から
八 広 図書館 八広5-10-1-104 電話 3616-0846	人形劇「3びきのこぶた」、映画、 おはなし など	12月22日（金） 午後2時30分から
緑 図書館 緑2-24-5 電話 3631-4621	人形劇「大きなかぶ」、「3びきの こぶた」 ほか	12月26日（火） ①午前11時から ②午後2時から

★ 人形劇の他にも、各館で様々な行事を予定しています。詳しくは、各図書館へお問い合わせください。

図書館へ行こう 6

詩・まつしま 茂

図書館は何世紀も生きてきたやさしい老人のようだ
そっと膝の上に抱き上げて
いちばんふさわしい言葉をさがして話をしてくれる
図書館は街の不思議な広場
静かな雑踏
豊かに話し出す自分のこころ
あらゆる世界に通じている小さな場所
時空がここでは自由になる
国立国会図書館のカウンターに掲げた言葉
真理が我らを自由にする
それは、明日への栄養
誰でも何時でも何処にいても
ひとりひとりがみんなにつながっている
みんなのものはひとりひとりのために用意されている



図書館ってそうじゃない？

ベストリクエスト

<本>

(12月4日現在)

順位	先月	タイトル	著者表示	予約数
1	—	東京タワー—オカンとボクと、時々、オトン—	リリー・フランキー	354
2	—	名もなき毒	宮部 みゆき	277
3	—	陰日向に咲く	劇団ひとり	253
4	—	ハリー・ポッターと謎のプリンス	J. K. ローリング	231
5	—	赤い指	東野 圭吾	175
6	—	のだめカンタービレ 第1巻～6巻セット	二ノ宮 和子	152
7	(↑) 8	花より男子(だんご)・第1～10巻セット	神尾 葉子	86
8	(↑) 9	鏡の法則—人生のどんな問題も解決する魔法のルール—	野口 嘉則	82
9	(↑) 18	のだめカンタービレ 第7巻～12巻セット	二ノ宮 和子	81
10	(↑) 18	月下の恋人	浅田 次郎	74

<視聴覚>

順位	先月	タイトル	アーティスト・監督名	予約数
----	----	------	------------	-----

(CD)

1	—	10th Anniversary Complete Single Collection 歌バカ	平井 堅	89
2	—	NAMELESS WORLD	コブクロ	63
3	(↑) 4	ベスト～first things～	倅田 来未	54
3	(↓) 3	HORIZON	レミオロメン	54
3	(↑) 4	LOVE COOK	大塚 愛	54

(ビデオ・DVD)

1	—	誰も知らない(DVD)	是枝 裕和	53
2	—	ハウルの動く城(DVD)	宮崎 駿	42
3	(↑) 5	イン・ハー・シューズ(DVD)	カーティス・ハンソン	38
4	(↓) 3	ファインディング・ニモ(DVD)	アンドリュース・スタントン	37
5	(↓) 4	Mr. インクレディブル(DVD)	ジョン・ラセター	32

☆ 10位(視聴覚は5位)以降のベスト・リクエストは、館内OPAC(利用者用検索・予約機)の「ベスト・オーダー」、インターネットの「予約ベスト」でご覧になることができます。

新着案内ダイジェスト（一般書）

書 名	著者名	出版社	請求記号
町工場で、本を読む	小関智弘	現代書館	019.9 コ
ヒルズ黙示録・最終章	大鹿靖明	朝日新聞社	007.3 オ
洗脳の世界だまされないためにマインドコントロールを科学する	キャスリーン・テイラー	西村書店	145.4 テ
14人のダライ・ラマ―その生涯と思想―上	グレン・H. ムリン	春秋社	180.9 ム
信玄の戦略―組織、合戦、領国経営―	柴辻俊六	中央公論新社	289.1 たけ
中山道を歩く―東京・日本橋―京都・三条大橋		山と溪谷社	291.5 ア 06
団塊世代のためのお金のかかり方	西田憲司	経済法令研究会	338.8 ニ
〈悪口〉という文化	山本幸司	平凡社	382.0 ヤ
完全独習統計学入門	小島寛之	ダイヤモンド社	417.0 コ
シネマ天文楽入門―宇宙SF映画を愉しむ	福江純著	裳華房	440.4 フ
旬の食材で作る免疫力を高めるレシピ	安保徹 監修	PHP研究所	596 青
ベジタブルスイーツキレイを引き出すあま〜いレシピ30	柿沢安耶 監修	あおば出版	596 灰色
図解老人介護の安心百科介護者の悩みと不安にこたえる本	柴田博 監修	主婦と生活社	598.3 シ
庭木の剪定コツのコツ	富澤彰夫 監修	小学館	627.7 ト
列車名変遷大事典	三宅俊彦	ネコ・パブリッシング	R 686.2 ミ
昼の学校夜の学校	森山大道	平凡社	740.4 モ
上を向いて歌おう―昭和歌謡の自分史―	永六輔	飛鳥新社	767.8 エ
サルビアの記憶	海老沢泰久	文藝春秋	F えびさわ
夜よ泣かないで	香納諒一	双葉社	F かのう
冬至祭	清水義範	筑摩書房	F しみず
腐蝕生保 上・下	高杉良	新潮社	F たかすぎ
ライオンと蜘蛛の巣	手嶋龍一	幻冬舎	F てしま
北前船の事件（はやぶさ新八御用旅）	平岩弓枝	講談社	F ひらいわ
恋空―一切ナイ恋物語―上・下	美嘉	スターツ出版	F みか
失われた町	三崎亜記	集英社	F みさき
魔性	渡辺容子	双葉社	F わたなべ
封鎖艦、イオニア海へ 上・下	パトリック・オブライアン	早川書房	G オブライ
明日への誓い	エリザベス・ムーン	早川書房	G ムン

『ぬけられますか 私漫画家 滝田ゆう』校條 剛 著 河出書房新社

PICK UP !

東向島出身の異色の漫画家・滝田ゆうの十七回忌を機に、担当編集者として長年滝田と交流してきた著者が描く渾身の評伝。滝田と自身との体験や、関係者からの取材を重ね、秘蔵の日記も公開している。 ≪一般 726.1 タキ≫

- ☆ この新刊案内はダイジェスト(抜粋)版です。すべての新刊案内は、館内OPAC・インターネットの「新着案内」でご覧になることができます。
- ☆ パスワードを取得されますと、館内OPAC・インターネット経由パソコン・携帯電話専用サイトにて、ご自分で資料を予約する事ができます。

新着案内ダイジェスト（児童書）

書名	著者名	出版社	請求記号
ギネス世界記録 2007	クレイグ・グレンディ 編	ポプラ社	R 030 ぐ
うごめく赤目玉（平成うわさの怪談）	木暮正夫 編	岩崎書店	388 へ
ネコの大常識	野中祐 文	ポプラ社	489 3
チャレンジミック！ 4 サンタクロース	ウォルター・ウィック	小学館	798 え
十二支のことわざえほん	高畠純	教育画劇	814 た
いっぽにほさんぽ！	いとうえみこ	ポプラ社	E いとう
もりのてがみ	片山令子	福音館書店	E かたやま
ブンブンバチン	スズキコージ	教育画劇	E すずき
うみのきらきらやまのきらきら	花之内雅吉	鈴木出版	E はなのう
おおきくなったら	ふくだとしお	幻冬舎	E ふくだ
てんぐちゃんのおまつり	もりやまみやこ	理論社	E もりやま
かわいくなんかないっ！	ジョナサン・アレン	評論社	E アレン
えほんをよんで、ローリーポーリー	リリ・シャルトラン	ポプラ社	E シャルト
ゆきだるまのクリスマス！	キャラリン・ピーナー	評論社	E ビナ

子どもと一緒に
楽しもう！

「生かた上手」 日野原 重明 著

ユーリーグ 2001年12月刊 《一般 490.1 ヒ》

ママの本棚

子どもをつれて、買い物をする・・・自分の気に入ったキャラクターのグッズやおもちゃを見つけると、あれが欲しい、これが欲しいと始まったのは、いつぐらいからだったかな？ 3歳ぐらいからだったかしら？店内で何度引きずるように帰り、大声で泣く我が子にため息をついたことでしょう。

2001年のベストセラーになった、日野原重明・著の『生き方上手』の一文に、“「子どもをだめにするには、欲しいものをなんでも与えることだ」という思想家ルソーに従えば、今の日本の子どもたちの行く末は推して知るべしです。塾で疲れている子どもの機嫌を損ねないように、おとなはいつもびくびくしていて、その自信なげな態度が、子どもの傍若無人ぶりに拍車をかけます。精神的に成熟したおとなに育てるためには、ときには有無を言わさぬ体当たりのしつけが欠かせないというのに、いったい、日本の大人たちはどうしたことでしょう”と書かれています。子どものお金に対する考え方や物欲のコントロール方法として、我が家であみだした方法。それが教育上正しいのか、正しくないのかは分かりませんが・・・

〈おじいちゃんやおばあちゃん、親戚の方からいただく子どものお小遣いは、3千円までなら子どものお財布に入れ、それ以上は貯金すること〉そして、親からは〈基本的には労働？やお手伝いでお小遣いをあげること〉にしました。布団敷 1 回 50 円のみ労働しか今のところ、レパートリーはありませんが・・・その他に〈欲しいものがあったら、自分のお小遣いで買うこと〉〈1店で1品までにすること〉〈500円以上のものは親が承諾しないとだめ〉などルールはたくさんありますが、これでなんとか自分のお財布と気持ちをコントロールし、上手にお金を使うようになりました。使いすぎてお財布がさみしくなると、せっせと布団敷きに精を出しています。『生き方上手』は、私が産休の時に、暇つぶしで読んだ本ですが、この一文が心に残り、今の子育てに反映できたことに感謝している本です。（えとよん）

「天才青山二郎の眼力」

百万から一を掘り出す、
骨董の眼利き(帯より引用)

白洲 信哉 著

新潮社

2006年8月刊

《一般 756.8 シ》

●「小林秀雄に『天才』と言われしめ、白洲正子が人生の師と仰いだ、ジィちゃんこと青山二郎。稀代の眼利きと評され、骨董を弄り、絵を描き、本を装丁したけれど、すべては『余技』。やかましい文士たちを議論で負かし、『自分は日本の文化を生きているのだ』が口癖だった。青山二郎とはいったい何者なのか？」(カバー見返しより引用)という惹句にひかれて手に取ってみれば、結論は何者とも言いがたい人なのでした。敢えて言えば、文中で河上徹太郎が評しているように「美しい

倦怠家」であり「勤勉に退屈している者」であり、宇野千代が書いたように「仕事と好きなことをするのとの区別がない」人なのだそうです。今時こんな生き方できますか。ため息がでるほどうらやましい。確かに青山は恵まれた家に生まれ、働く必要もなく、欲しいものは何でも手に入れられる立場でしたが、彼はそれを最大限に活かし、ひたすら「美」のために生きました。それも自分自身の眼だけを頼りに、自分自身の「美」を見つけていったのです。

この本の中で、青山の二人の「弟子」(白洲正子と小林秀雄)の孫にあたる著者の白洲信哉は、豊富な写真と解説で多方面にわたる青山の「美」の世界を紹介しています。歳末の忙しい時期ですが、ほっと一息ついた時、この本を広げて、しばし美の世界に遊ぶというのはいかがでしょうか。「美はそれを見る者の眼の中にある」そんな言葉を思い出させてくれる一冊です。(虎)

もう幾つ寝ると～？



歳末の共同募金が始まり、街のあちこちにツリーや華やかな電飾が灯り、メディアでイベントや歳末商戦の情報が流れれば、今年もやって来る、子どもも大人も待ちに待ってた『クリスマス』。

「クリスマスってなに？」と我家の子どもに聞くと、「神様のお誕生日！」と。それから「困ってる人たちにお金を集めてプレゼントする日なんだよね」とクリスマス献金の事を。そして「サンタさんが良い子にプレゼント持って来てくれる日だよね!!!」という最後の答えに、一番力が入っていました。そう言いながら「サンタさんに手紙を書かなくちゃ！」と早速、判読不明の文字で懸命に何やら書いていました。

“クリスマス”といえは、なにはともあれ『サンタクロース』。子ども達の憧れのその人は、4世紀のトルコにいたニコラスという資産家で、貧しい人達を助けて“聖(セント)ニコラスの伝説”として広まり、その呼び名がなまって『サンタクロース』と呼ばれるようになったとか。この『サンタクロース』の他にクリスマスにプレゼントを配る人は、ヨウルブック(フィンランド)、クリスト・キント/バイナハツマン(ドイツ)、マダム・ノエル(フランス)等おじいさんではなく、子どもであったりおばあさんであったりと国や宗教を超えて様々な子ども達の憧れのキャラクターが存在するようです。

今年のクリスマスは、日頃の感謝(愛?)を込めて大切な人へプレゼントを贈るとともに、聖ニコラスにならって、困っている人へ気持ちを少しおすそ分けしてみるのもよいかもしれませんね。寒い冬にちょっぴりですが、心も暖かくなりそうです。(ももんが)

★子ども達からサンタさんへのメッセージ 「サンタクロースへの手紙」 世界文化社《児童 Eサンタ》

★もしも子どもに質問されたら「サンタクロースっているんでしょうか？」 偕成社《児童 Eニユク》

★世界のサンタさんについて「サンタクロースの大旅行」葛野浩昭 著 岩波書店《一般 386.0 ク新書》

「クリスマスの文化史」若林ひとみ 著 白水社《一般 386.0 ワ》

12月

2007年 1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■の日はお休みです。

- ★他の図書館、コミュニティ会館図書室の休館日とは、異なりますのでご注意ください。
- ★年末年始の休館時は、本・雑誌のみ、1階入り口のブックポストへご返却いただけます。視聴覚資料(CD・カセット・ビデオ・DVD)は開館日にカウンターへご返却ください。

今月の特集コーナーは「**年賀状**」です。今年のカレンダーも残り1枚となりました。そろそろ年越しの準備を始めませんか？

★このコーナーにある年賀状関係の資料は、短期（1週間）貸出となりますので、ご了承ください。

あすま図書館 今月の行事予定

9日（土）午前11時から
あそびとおはなし会

10日（日）①午前10時30分から
②午後1時30分から
③午後3時から
人形劇「どうぞのいす」
ペープサート「おむすびころりん」

★当日、カウンターにて整理券をお配りいたします

20日（水）午後3時から
おはなしの時間とこうさく会 先着20名まで
「モールのビーズツリー」を
つくってかざろう



編集後記 早いもので今年も残すところあと一か月。クリスマスや年越しの準備と、なにかと忙しい師走ですね。こんな季節こそ、どうぞ図書館をご利用ください。「大掃除」から「おせち料理」、「年賀状の書き方」や「冬のおでかけ」等、様々な本・情報がお待ちしております。来年も、皆さまにとって良き年でありますように。